

四国横断自動車道 勝浦川渡河橋の整備に関する環境保全検討委員会 (第2回)

第2回委員会の進め方



平成28年1月6日

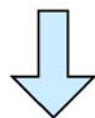
1.環境保全検討委員会の目的と主な議題等

- 1.目的 …………… 四国横断自動車道勝浦川渡河橋梁の整備にあたって、生物の生息・生育環境の保全対策を検討するため、専門家から必要な指導、助言を得ることを目的とする。
- 2.主な議題等 …… ①橋梁の設置に起因する環境への影響
②環境保全対策
③モニタリング調査に係る調査の項目、方法及び評価
④その他、目的達成に必要な事項

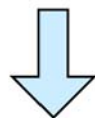
3.検討方針

- 想定される環境への影響把握
 - ・橋梁の設置に伴う、生物の生息・生育環境への影響
 - ・橋梁の設置に伴う、干潟や河口砂州等への影響

- 環境保全目標の設定
 - ・生物の好適な生息・生育環境を維持する。
 - ・干潟や河口砂州の現状を概ね維持する。



- 環境保全目標が達成されない事が予測される場合、
目標を達成するための対策を検討
 - ・橋梁の構造検討等



- モニタリング方法の検討

4.第1回検討委員会の議事概要

1. 日時 平成27年10月15日(木) 14:00~16:30

2. 議事次第

- 1.開会挨拶
- 2.事業者挨拶
- 3.委員及びオブザーバーの紹介
- 4.規約承認及び委員長の選任
- 5.議事
 - (1)事業概要及び勝浦川の概要(資料3)
 - (2)委員会の進め方(資料4)
 - (3)勝浦川及びその周辺における基礎情報(資料5)
 - (4)勝浦川及びその周辺における今後の調査方針(資料6)
 - (5)地形変化解析結果(資料7)
- 6.閉会

3.配付資料

- 資料1 四国横断自動車道「勝浦川渡河橋の整備に関する環境保全検討委員会」について
- 資料2 委員会規約
- 資料3 事業概要及び勝浦川の概要
- 資料4 委員会の進め方
- 資料5 勝浦川及びその周辺における基礎情報
- 資料6 勝浦川及びその周辺における今後の調査方針
- 資料7 地形変化解析結果

5.第1回検討委員会における主な意見及び回答(1/2)

意見内容		意見に対する回答	配付資料
1	干潟について、小面積でも減少するものに対しては代替措置を講じて欲しい。	干潟については、橋脚を設置しないほか、地形変化解析の結果、影響が無いと予測しています。	資料3(8)
2	勝浦川上流部ダム建設当時の環境調査資料を確認して下さい。	当該ダムについては、環境影響評価が実施されていません。	資料2(4)
3	トンネル坑口部、工事中進入路についても十分調査して下さい。	工事着手前に適切に調査を行い、影響が生じないか確認します。	資料2(52) 資料3(28)
4	生物調査については、調査方法を明確にして下さい。	調査方法を整理しました。	資料2(各)
5	生物調査の確認種リストを資料としてつけて下さい。	確認種リストを別途配布します。 (資料配布は委員に限定する)	別添ファイル
6	鳥類の飛翔状況調査は、潮が動いている時間帯に調査した方が良い。また、右岸側の入江については中まで確認して下さい。	調査は干潮前後の6時間、計12時間実施していることから、潮が動いている時間帯に調査をしています。 また、右岸側の入江についても調査をしています。	資料2(12)
7	カモ類についても場所や個体数を合わせて確認して下さい。	カモ類を含めた全ての鳥類を確認・記録しています。	資料2(21)
8	鳥の夜間の状況把握のため、夜明け前後に出来る限り確認して下さい。	9月に夜明け前後及び日没前後の夜間調査を行っています。	資料2(18)

5.第1回検討委員会における主な意見及び回答(2/2)

	意見内容	意見に対する回答	配付資料
9	<p>当地の植物で最も重要な種は、 であり大事にして下さい。また、県下一、大きな群落がある については で失われることがないように配慮して下さい。</p>	<p> については、 が が最小となるように配慮します。</p>	<p>資料2(52) 資料3(28)</p>
10	<p> も10月の開花期に調査して下さい。</p>	<p>10月に 調査を行いました。確認されませんでした。</p>	<p>資料2(44)</p>
11	<p>範囲外ではあるが、隣接地に生息するアルゼンチンアリに注意すること。</p>	<p>確認した場合は、環境省の手引きに基づき適切に対処します。</p>	<p>資料3(28)</p>
12	<p> の採取法について検討して下さい。</p>	<p>H26年9月調査で目視又はタモ網やジョレンを用いた定量採集法により確認しました。また、H27年10月調査においても目視により確認しています。</p>	<p>資料2(28)</p>
13	<p>橋脚の数等は、複数パターンについて検討したほうが良い。</p>	<p>複数パターンで検討を行っています。</p>	<p>資料3(4)</p>
14	<p>波浪や流量による底質への影響について説明して下さい。</p>	<p>河口域の底質粒径の変化は一般に予測が困難であるため、今後のモニタリング調査で影響を確認します。</p>	<p>資料3(21)</p>
15	<p>粒度と河床変動解析の計算手法について示して下さい。</p>	<p>計算手法について整理しました。</p>	<p>資料3(6)</p>